

Yonago East Weekly



【数は力なり、継続も力なり、親睦は結束を生み、結束は大いなる力なり】

- 創立／1968年4月24日 ● 事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel(0859)32-5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ● 例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel(0859)36-1111
- 会長／伊藤慎哉 ● 幹事／林 俊一 ● 会報／牧田継夫

出席報告

会員数：110名
出席数：72名 欠席数 30名
出席免除会員 7名：荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君 植田君
出席率 71.29%

メイクアップ

9/3 会員12名 (第3回理事会)

スマイルBOX 36,000 円 (409,000 円)

本人誕生日祝：梅田君 小林(慎)君 新納(哲)君
高橋(宏)君 尾沢(裕)君 岡君 杉原(弘)君 牧田君

創立記念日祝：前田君 吉岡君 諸遊君

主・夫人誕生祝：小林君

結婚記念日祝：石川君 (順不同)

・NPO法人日本コーチ協会山陰チャプターはお陰様で
10周年を迎えることができました。10/27 (日)
夢みなとタワーにて10周年記念講演会を行います。ぜひ
ご参加ください。足立(博)君

《幹事報告》

(1)9/11 ガバナー公式訪問例会
榊原ガバナー
坪井地区資金管理小委員会委員長
100%出席例会



(2)10/6地区大会のご案内 (岡山ドーム)
(3)当クラブ休会日 9/18
他クラブ変更は掲示板

【会長挨拶】



挨拶に先立ちまして一言、私の亡き母の葬儀に際しては暖かいご厚情を賜りましたこと、非常に感謝をいたしております。ありがとうございました。

では会長を挨拶に移ります。みなさん、こんにちは。声がちょっと小さいですね。みなさん、こんにちは。元気にやっついこうと思います。今日は何を話そうかなと思いましたが、健康についてちょっとお話をしていこうかなと思っております。今年の6月から、厚生労働省が開業医に対して、糖尿病、高血圧、高コレステロール血症、この3つの疾患はメタボニックシンドロームの診断基準にも全て入るんですが、この3つの疾患に対してきちんと指導をしなさいよ、特に4ヶ月に1回指導内容を文書に残して、それに患者さんにサインをしてもらいなさい、という試みが始まりました。確かにメタボニックシンドロームが大きな指針の条件になりますので、今回の厚生労働省の指導は素晴らしい試みではあるんですが、私の開業医としては仕事が増えたということになります。私自身も高血圧、糖尿病、高コレステロール血症の薬を飲んでおりますので、自分の体調管理はしっかりやっついかなければいけないな、というところでございます。

もう1つ話は変わりますが、私の病気自慢をちょっといたします。4年前と3年前に大きな病気にかかりまして、大変な手術を受け現在は完治しております。ただ4年前、3年前に病気にかかっておりますので、いつまた何か他に見つかるかは分かりませんので、もう今しか会長をやれる機会がないのではないかと、いうところで会長職をやっております。

皆さん健康診断は非常に大事です。特に、人間ドックが病気の早期発見に最も有効だと思います。皆さんぜひ人間ドックを受けてください。以上で、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



THE MAGIC OF ROTARY

【ロータリーの友】雑誌委員会・西村正男 君

P 5 R I 会長メッセージ・・・ファミリーの意味
P 7～13 9月 は基本的教育と識字率向上月間ということで、
他ロータリーの海外での支援活動が紹介されています。
P 14～19 「ロータリーの友」をフォローする地区のリーダーたち
第2690地区の飛山美保 君も紹介されています。
縦書き P 4～8 セイコウ・イシカワ ベネズエラ大使のIM講演



【私の職業】・・・(株)鳥取銀行 米子営業部 執行役員部長
伊藤 祐介 君

TOTTORI BANK 鳥取銀行



私は1970年5月に埼玉県で生まれ、生後9ヶ月で父親の転勤を機に母親の実家でもある米子に帰ってから、ずっと米子で過ごしてまいりました。そこから一度、大学で関西の方に
出て、1995年の4月に鳥取銀行に入行しました。

鳥取銀行は、鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行です。鳥取県では、人口減少や少子高齢化が進んでいま
す。後継者不足率も高く、事業者数が年々減少しています。こうした環境下で地域が存続していくために
は、未来を担う世代が安心して暮らせる街をつくることや、雇用の場を守ることが必要です。そういった
持続可能な地域をつくり、守り支える存在になりたい。というのが鳥取銀行のパーパスです。

鳥取銀行としては、鳥取県のサステナビリティを高めること、これが究極のミッションなので、鳥取県の
未来これをつくる、守る、支える、これが鳥取銀行のパワーバランスだと我々は考えています。

略歴

1970年5月 埼玉県にて生まれる
1971年2月 米子市に帰郷
1975年3月 良善幼稚園 卒園
1983年3月 加茂小学校 卒業
1986年3月 加茂中学校 卒業
1989年3月 米子東高等学校 卒業
1995年3月 関西学院大学 商学部 卒業
1995年4月 株式会社 鳥取銀行 入行

鳥取銀行の経営ビジョン



パーパスとは？

- ・企業の存在意義
- ・企業の社会的役割
- ・パーパスは、全てのステークホルダーが共感できるもの
(従業員、顧客、株主、地域等)
- ・経営理念は、創業者、経営者が重視する価値観

鳥取銀行のパーパス

～地域社会の未来を「創る」「守る」「支える」～

私たち鳥取銀行が本店を置く鳥取県では、人口減少や少子高齢化が進んでいます。
後継者不在率も高く、事業所数は年々減少しています。
こうした環境の下で、地域が存続していくためには、未来を担う世代が安心して
暮らせるまちを創ることや、雇用の場を守ることが必要です。

私たちは、地域金融機関として、これまでの金融の枠組みを越えた
サービスを提供するとともに、更なる地域の価値向上に取り組むことで、
持続可能な地域社会の未来を「創り、守り、支える存在」になりたい
と思っています。



鳥取県と県民の日

とっとり県民の日 ... 9月12日

- ・平成10年に制定（鳥取県条例として制定）
- ・なにを記念した日なのか？

鳥取県の銀行史

大正14年には、鳥取県に本店を置く普通銀行は12行も！

- ・山陰商業銀行 + 雲陽銀行 = 雲陽商業銀行
- ・中国興行銀行 → 米子銀行に吸収合併
- ・大正鳥取銀行 → 雲陽商業正銀行に吸収合併
- ・豊泰銀行 → 米子銀行に吸収合併
- ・若桜銀行 → 雲陽商業銀行が買収
- ・雲陽商業銀行（鳥根県） → 松江銀行（鳥根県）に吸収合併
- ・浦富銀行・・・解散
- ・山陰銀行・・・解散
- ・因伯銀行・・・解散
- ・八頭銀行・・・破産
- ・米子銀行 + 松江銀行（鳥根県） = 山陰合同銀行（鳥根県）

昭和16年には、7行に・・・

パーパス

戦後復興を支える地元銀行が必要だ！

鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行

- ・昭和24年設立（普通銀行なし県からの脱却）
- ・公募トップの名称は鳥取県民銀行

同じ時代に、扶桑相互銀行（ふそう銀行）が設立されるが、
平成3年に山陰合同銀行に吸収合併される

まとめと・・・

- ・鳥取銀行の存在意義（パーパス）の根本は「鳥取県に本店を置く唯一の銀行」
- ・経済規模の小さな鳥取県には、絶対に地元銀行が必要である（逃げない）
- ・逆に経済規模が大きな県には地元銀行はなくてもいい（他からいくらでも来る）
- ・鳥取県と鳥根県は最も重要なパートナーであると同時にライバル
- ・米子が発展するためには、鳥取県の存続が必要（山陰の中心）
- ・鳥取県のサステナビリティを高めることが、鳥取銀行の究極のミッション

～鳥取県の未来を「創る」「守る」「支える」～



ご清聴ありがとうございました